

強風対策のチェックリスト

果樹（露地）（ミカン・キウイフルーツ）

【事前対策】

内容	チェック欄	備考
（ミカン） 風当たりの強い園地での栽培は避ける。		特に清見などの傷果の発生しやすい品種及びネーブル、レモン等のかいよう病に弱い品種の栽培は避ける。
（ミカン） 防風垣、防風網、防風ネット等の整備を行う。		かいよう病の発病予防効果がある。
（キウイフルーツ） 新梢は早めに捻枝して棚付けする。		捻枝器を使うと棚付けしやすい。
（キウイフルーツ） 結果母枝を多めに配置する。		適正着果量は厳守する。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

※ 日頃から気象情報を確認し、気象災害に備えるよう心掛けましょう。

強風対策のチェックリスト

果樹（露地）（ミカン・キウイフルーツ）

【事後対策】

内容	チェック欄	備考
(ミカン・キウイフルーツ共通) 塩害が認められる場合は、速やかに散水し塩分を洗い流す。		被塩後 6 時間以内の散水で効果が大きく、10 時間を過ぎるとほとんど効果がない。2～3 トン/10a 程度散水する。
(晩柑類) 晩柑類で果実が着果しており、落葉がひどい場合は、全摘果して樹勢の衰弱を防ぐ。		枝まで枯れ込んでいる場合は健全部まで切り返す。
(ミカン) 塩害を受け樹勢が弱った場合は、少しでも早く樹勢の回復を図るために、樹全体の枝を強めに切り返す。		強い新梢を発生させるために早く緑化させる。緑化するまでに葉面散布を 2～3 回行う。5 月に入って蕾がみられたら全摘蕾を行う。
(ミカン) 倒伏した若木や幼木は、土壌が乾燥しないうちに起こして、支柱を立てて誘引する。		根元が回された樹はできるだけ早く覆土してから支柱を立てる。
(ミカン) 枝折れが発生した場合は、その基部から剪除する。		切り口には癒合促進剤を塗布する。軽い股裂けは結束して癒合を促す。
(特に中晩柑) かいよう病発生のおそれがある園では、被害が落ち着いた後に薬剤防除を行う。		

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

※ 日頃から気象情報を確認し、気象災害に備えるよう心掛けましょう。